

令和4年度 学力向上を図るための授業改善推進プラン

教科：美術科

Research ⇒ 現状分析・課題把握

- 1年生**・・【授業、実技テスト、作品、定期考査などの分析】⇒ 授業や課題に対して前向きに取り組む生徒が多い。1時間の授業における目当てやねらい、課題内容を理解に努めながら、楽しく学習に臨んでいる。作品の完成度が高く、技能問題においても学んだ知識を活用し丁寧に取り組めた。
- 2年生**・・【授業、実技テスト、作品、定期考査などの分析】⇒ 授業規律が身に付き、課題に対して前向きな姿勢が見られる生徒が多いが、準備や片付けに時間がかかる生徒もいる。計画的に制作活動に取り組み、より良い作品をつくるためにどのように工夫したらよいか、試行錯誤しながら、主体的に授業に臨んでいる。作品の完成度が高く、技能問題においても学んだ知識を活用し丁寧に取り組めた。
- 3年生**・・【授業、実技テスト、作品、定期考査などの分析】⇒ 授業規律が身に付き、課題に対して前向きな姿勢が見られる生徒が多い。計画的に制作活動に取り組み、より良い作品をつくるためにどのように工夫したらよいか、試行錯誤しながら、主体的に授業に臨んでいる。作品の完成度が高く、技能問題においても学んだ知識を活用し丁寧に取り組めた。

Plan ⇒ 課題解決のための主な取り組み(計画)

《Ⅰ 基礎的・基本的な知識・技能の『習得』》

- 1年生**・・ 教科書や配布資料などから学習のねらいや課題の目当てを理解させ、資料集などを活用しながら用具や技法の基礎的・基本的な内容や技能を身に付けさせる。
- 2年生**・・ 教科書や配布資料、資料集、ワークシートなどを活用しながら用具や技法の基礎的・基本的な内容を繰り返すことでさらに定着させ、そのためにも一層の個別指導に心掛ける。
- 3年生**・・ 教科書や配布資料、資料集、ワークシートなどを活用しながら用具や技法の基礎的・基本的な内容の大切さを理解させ、それぞれの思いや考えが表現できるようより一層の個別指導に心掛ける。

《Ⅱ 思考力・判断力・表現力等の『活用』する力の育成》

- 1年生**・・ 課題制作においてどのような資料や情報が有効的なのか、全体や個別に働き掛けながら思考力や表現力を高め、活用する能力を育む。
- 2年生**・・ 1年次で習得した知識や技能を更に応用することで、思考力や判断力が高められ、思いや考えが作品制作に反映できる表現力を育む。
- 3年生**・・ 授業で得た知識や技能、生活を通して培われた感じ取る思いを大切に、作品制作を通して表現力を高め、生活の中で活用する能力を育む。

《Ⅲ 『学ぶ意欲や態度』の向上、学習習慣の定着》

- 1年生**・・ 1時間の授業の大切さ、基礎的・基本的な事柄の重要性を繰り返しながら、制作段階に応じて適切に評価し、達成感を味わわせることで主体的に取り組ませ、学習習慣の定着化を図る。
- 2年生**・・ 優れた作品や創意工夫が見られるものを褒め、伸ばすことで他者を認め、制作段階に応じて適切に評価し、達成感を味わわせることで自分らしく表現する意欲的な姿勢の向上を図る。
- 3年生**・・ 授業を通して学習した様々な表現方法を生活の中で活用しながら、様々な作品の良さや作者の心情を理解させ、制作段階に応じて適切に評価し、達成感を味わわせることでさらに意欲の向上を図る。